

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算の承認について

資料1

大阪大学工業会 令和4年度事業報告および決算について

I. 実施事業と費用

1. 会誌「TECHNO NET」の発行

- ・ 令和4年4月、令和4年10月の2回の発行を行った。
- ・ 従来年4回の会誌(冊子)の発行を行っていたが、令和4年度に関しては、経費節減のため年2回の発行とした。(ただし、広告費は減少している)

【印刷製本費】 (【 】は経費項目、以下同じ)

- 令和4年度費用:3,468,059円
- 令和3年度費用:6,450,106円

2. 大阪大学工業会賞の授与

- ・ 大阪大学工学研究科博士課程前期修了予定の優秀な学生を対象に対し、大阪大学工業会賞の授与を行った。
- ・ 令和4年度については工学研究科の各専攻から候補者を推薦いただき、企画・展望ワーキンググループのメンバーにて審査を行い、13名の学生に対し授与を決定した。
- ・ 副賞として一人3万円を贈呈した。
(従来は5名以内、副賞一人10万円)
- ・ 賞状作成の内作化等の経費削減を行った。
- ・ 受賞者の研究内容については、各受賞者に紹介原稿を作成いただき、工業会ホームページで一般公開を行った。令和5年度テクノネットWEB版でも順次公開予定。

【奨学事業費】

- 令和4年度費用:432,517円
- 令和3年度費用:473,920円

3. 数学講座の実施

- ・ 数学講座を下記のとおり開催した。

開催日時:2022年7月28日(木)15:00~17:00

2022年7月29日(金)13:00~17:00

開催場所:大阪大学大学院工学研究科内 センテラス3階

講演議題・講師

1)「ダムの数理」

大阪大学名誉教授 西田 俊夫 氏

2)「3次直交行列について」

大阪大学名誉教授 難波 誠 氏

3)「カルマンフィルター」

大阪大学名誉教授 関西大学システム理工学部 教授 長井 英生 氏

- ・ 数学講座は令和4年度を最終回とした。

【夏期数学講座】

- 令和4年度費用:165,415円
- 令和3年度費用:166,815円
(それぞれ参加費収益は30,000円)

4. 講演会の実施・共催

(1)通常総会における講演会(現地開催+オンライン開催)

講師:関西経済同友会代表幹事 生駒 京子様
演題:「29年目のプロアシスト+関西の未来」

(2)冶金会講演会の共催

- ・ 冶金会が実施する総会併設の講演会の共催を行った。(共催金 1万円/回)
- ・ 開催内容は会誌テクノネットで紹介。

<第1回>

7月31日(土)13:00~15:45 オンライン開催

・「量子論で材料科学・工学に取り組む」

大阪大学 教授 吉矢真人氏(H7・学界)

・「管理会計とエンジニアリングの融合」

甲南大学名誉教授・甲南学園理事長 長坂悦敬氏(冶金 S56)

<第2回>

3月24日(木)16:30~18:20 に、オンライン・対面のハイブリッド方式

「材料技術による機械製品の革新、事業への貢献

～川崎重工における事例～」

川崎重工業株式会社 中谷浩氏(金属材料 S59)

(3)吹田祭 講演会

- ・ 吹田祭の講演会に協賛を行った。(協賛金 1万円)

日時:11月7日(月) 13:30~15:00

会場: センテラスサロン(工学部キャンパス)

講師:菊池 昇

株式会社コンポン研究所 代表取締役所長

公益財団法人豊田理化学研究所 常務理事

講演テーマ「産業界も期待するこれからの科学技術人材と大学」

【講演会費】

- 令和4年度費用:89,096円
- 令和3年度費用:33,411円

5. 支部活動

- ・ 令和3年はコロナの影響で各種イベントが中止されていたが、令和4年度は、支部活動費としての支出は控えたものの、過去の活動費を活用しての支部活動が再開された。
(詳細はテクノネット598号等を参照されたい)

【研修費】

- 令和4年度費用:0円 (本部からの支出)
- 令和3年度費用:49,267円 (本部からの支出)

6. ホームページによる情報発信

- ・ 大阪大学卒業生向け情報、工学研究科情報を含めホームページによる情報発信頻度を向上させた。ただし、ホームページの改定は一通りの改善点がまとまった段階で発注することとし、令和4年度は大幅な改定は見送った。
- ・ 次項メール配信開始に係る設定においてホームページアカウントを利用するため、若干の費用増加があった。

【情報配信サービス】

- 令和4年度費用:111,980円
- 令和3年度費用:105,380円

7. メール配信の開始およびメールアドレス登録の促進

- ・ 会誌テクノネットのWEB配信の連絡、イベントの適宜情報発信を行うため、令和5年1月より会員向けにメール配信を開始した。
- ・ 既存の会員管理システムを利用したメール配信とし、費用をほとんどかけることなく配信が可能となった。(メール配信アカウントをホームページ用のアカウントで設定するため、改良費は前項の費用に含まれている)
- ・ なお、個人情報保護の観点から、会員管理システムは通常はインターネットと切り離しており、メール配信時のみネット接続する方式とした。
- ・ また、メール配信の送付先拡大のため、会誌などにおいてメールアドレス登録を呼びかけ、徐々に会員管理システム上のアドレス登録が増加しつつある。

【会員管理システム費】

- 令和4年度費用:237,600円
- 令和3年度費用:237,600円

8. 委員会活動(事業部門)

<編集委員会>

- ・ 編集委員会を年4回ZOOMで開催し、テクノネットのWEB化について主に検討を行った。
- ・ また掲載記事の妥当性についてメール審議を行った。
- ・ いずれも現地開催がなかったため、費用は発生していない。

9. 総会・理事会・WG(管理部門)

- ・ 以下の会合を実施した。いずれも会議費としての支出はなかった。

<通常総会>

2022年6月13日(月) 17時~18時 (総会後は講演会を開催した 4 参照)

- ・ センテラスサロン現地開催およびリモートの併設で通常総会を開催した

<理事会>

2022年5月16日(月) 17:30~18:30 令和3年度決算理事会

2023年3月16日(月) 17:30~18:30 令和5年度予算理事会

- ・ いずれもリモートで開催した。

<企画・展望ワーキング>

2022年4月18日、6月27日、8月22日、10月3日、2023年1月23日

- ・ いずれもリモートで開催した。

II. 収入について

1. 会費収入および同窓会連合会還元金

- ・ 入会人数の減少傾向が継続しており、会費収入が減少している。
- ・ 同窓会連合会の還元金についても減少傾向にある。

【受取会費】

- 令和4年度収入:2,960,000円
- 令和3年度収入:3,460,000円

2. 産学人材育成事業業務支援手数料

- ・ 大阪大学工業会では下記3講座がそれぞれ独立事業として実施されており、この経理手続きを工業会本体で担っている。従来その手数料(内部振り替え)を会費など各事業の収入の5%としていたが、①③については令和4年度分から10%とした。(②については令和5年度より変更予定)

①応用化学系社会人教育講座

産学高分子塾及び個別企業のニーズに合わせたカリキュラムによる出張高分子塾を開催。

②機械工学系技術交流会

講演会及び機械工学関連分野を知るためのラウンドテーブルを開催。

③パワエレ技術者塾

実務につなげるパワーエレクトロニクス技術者の育成。

- ・ それぞれの実施内容については別紙1参照

【事務手数料】

- 令和4年度収入:1,361,143円
- 令和3年度収入:740,657円

以上

大阪大学工業会 令和4年度収支（2022.4.1～2023.3.31）

工業会本体			産学人材育成事業(応化 機械 パワエレ塾)		
収 益			収 益		
受取会費	会員会費	2,761,000	受取会費	応化	0
	連合会還元金	199,000		機械交流会	6,300,000
	中計	2,960,000		パワエレ塾	2,300,000
				中計	8,600,000
事業収益	広告事業収益	142,400	受講料	応化	1,806,970
	公開講座収益	30,000		機械交流会	1,480,000
	中計	172,400		パワエレ塾	5,614,325
				中計	8,901,295
雑収益	受取利息	600,071	雑収益	受取利息	173
	消費税（その他事業）	0			
	事務手数料（その他事業）	1,361,143			
	内部振替小計	1,361,143			
	中計	1,961,214			
収益合計		5,093,614	収益合計		17,501,468
費 用			費 用		
事業費	講演会費	89,096		給与	3,901,968
	研修費	0		雑給	60,000
	奨学事業費	432,517		旅費交通費	350,210
	印刷製本費	3,468,059		通信費	44,772
	情報配信サービス	111,980		減価償却費	261,625
	キャリアアップ支援	0		消耗品費	466,530
	夏期数学講座	165,415		印刷製本費	979,000
	会議費（事業用）	0		租税公課	23
	中計	4,267,067		委託費	450,000
管理費	給与	4,326,550		講演会費	3,278,570
	法定福利費	38,500		奨学事業費	6,600,000
	旅費交通費	807,790		手数料	38,082
	通信費	85,844	内部振替	消費税	0
	会議費（管理用）	0	内部振替	事務手数料	1,361,143
	減価償却費	377,195			
	消耗品費	120,848			
	光熱水料費	105,323			
	賃借料	135,236			
	租税公課	102,834			
	支払負担金	0			
	リース料	287,324			
	会費等集金費	230,713			
	会員管理システム費	237,600			
	支払報酬	623,725			
	雑費	333,211			
	手数料	62,487			
	消費税	0			
	中計	7,875,180			
費用合計		12,142,247	費用合計		17,991,591
収支	（収益－費用）	-7,048,633	収支	（収益－費用）	-490,123
工業会全体（工業会本体＋産学人材育成）					
	経常収益計：	22,595,082			
	経常費用計：	30,133,838			
	全体収支	-7,538,756			

大阪大学工業会 令和3年度年度収支（2021.4.1～2022.3.31）

工業会本体			産学人材育成事業(応化 機械 パワエレ塾)		
収 益			収 益		
受取会費	会員会費	3,256,000	受取会費	応化	0
	連合会還元金	204,000		機械交流会	6,500,000
	中計	3,460,000		パワエレ塾	1,700,000
				中計	8,200,000
事業収益	広告事業収益	678,080	受講料	応化	700,000
	公開講座収益	30,000		機械交流会	1,480,000
	中計	708,080		パワエレ塾	4,432,995
				中計	6,612,995
雑収益	受取利息	670,060	雑収益	受取利息	157
	消費税（その他事業）	324,430			
	事務手数料（その他事業）	740,657			
	内部振替小計	1,065,087			
	中計	1,735,147			
収益合計		5,903,227	収益合計		14,813,152
費 用			費 用		
事業費	講演会費	33,411		給与	2,704,480
	研修費	49,267		雑給	55,500
	奨学事業費	473,920		旅費交通費	113,980
	印刷製本費	6,450,106		通信費	43,003
	情報配信サービス	105,380		消耗品費	183,971
	キャリアアップ支援	0		印刷製本費	1,199,000
	夏期数学講座	166,815		租税公課	23
	会議費（事業用）	0		委託費	0
	中計	7,278,899		講演会費	1,676,400
				奨学事業費	5,800,000
管理費	給与	4,381,700		手数料	31,889
	法定福利費	78,389		雑費	142,799
	旅費交通費	848,420	内部振替	消費税（※）	324,430
	通信費	96,135	内部振替	事務手数料	740,657
	会議費（管理用）	0			
	減価償却費	377,196			
	消耗品費	130,370			
	光熱水料費	73,328			
	賃借料	129,115			
	租税公課	496,202			
	支払負担金	60,000			
	リース料	282,528			
	会費等集金費	316,488			
	会員管理システム費	237,600			
	支払報酬	1,025,015			
	雑費	273,618			
	手数料	64,854			
	消費税	0			
	中計	8,870,958			
費用合計		16,149,857	費用合計		13,016,132
収支	（収益－費用）	-10,246,630	収支	（収益－費用）	1,797,020
工業会全体（工業会本体＋産学人材育成事業）					
	経常収益計：	20,716,379			
	経常費用計：	29,165,989			
	全体収支	-8,449,610			

※ 前年度分の消費税
← 消費税納付含む

大阪大学工業会本体 令和3年度収支、令和4年度年度収支

工業会本体			
収 益		令和3年度	令和4年度
受取会費	会員会費	3,256,000	2,761,000
	連合会還元金	204,000	199,000
	中計	3,460,000	2,960,000
事業収益	広告事業収益	678,080	142,400
	公開講座収益	30,000	30,000
	中計	708,080	172,400
雑収益	受取利息	670,060	600,071
	消費税（その他事業）	324,430	0
	事務手数料（その他事業）	740,657	1,361,143
	内部振替小計	1,065,087	1,361,143
	中計	1,735,147	1,961,214
収益合計		5,903,227	5,093,614
費 用		令和3年度	令和4年度
事業費	講演会費	33,411	89,096
	研修費	49,267	0
	奨学事業費	473,920	432,517
	印刷製本費	6,450,106	3,468,059
	情報配信サービス	105,380	111,980
	キャリアアップ支援	0	0
	夏期数学講座	166,815	165,415
	会議費（事業用）	0	0
	中計	7,278,899	4,267,067
	管理費	給与	4,381,700
法定福利費		78,389	38,500
旅費交通費		848,420	807,790
通信費		96,135	85,844
会議費（管理用）		0	0
減価償却費		377,196	377,195
消耗品費		130,370	120,848
光熱水料費		73,328	105,323
賃借料		129,115	135,236
租税公課		496,202	102,834
支払負担金		60,000	0
リース料		282,528	287,324
会費等集金費		316,488	230,713
会員管理システム費		237,600	237,600
支払報酬		1,025,015	623,725
雑費		273,618	333,211
手数料		64,854	62,487
消費税	0	0	
中計	8,870,958	7,875,180	
費用合計		16,149,857	12,142,247
収支（収益－費用）		-10,246,630	-7,048,633

令和5年（2023年）6月19日 大阪大学工業会 通常総会
第1号議案 資料3

財 務 諸 表

自：令和 4年 4月 1日
至：令和 5年 3月31日

〒565-0871
吹田市山田丘2-1
大阪大学大学院工学研究科内センテラス3階

一般社団法人 大阪大学工業会

会長 豊田 政男

貸借対照表

令和 5年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	114,698,641	121,479,555	△ 6,780,914
流動資産合計	114,698,641	121,479,555	△ 6,780,914
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	635,378	42,396	592,982
投資有価証券	30,000,000	30,000,000	0
ソフトウェア	474,300	809,100	△ 334,800
その他固定資産合計	31,109,678	30,851,496	258,182
固定資産合計	31,109,678	30,851,496	258,182
資産合計	145,808,319	152,331,051	△ 6,522,732
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	8,359,993	7,332,327	1,027,666
預り金	0	11,642	△ 11,642
流動負債合計	8,359,993	7,343,969	1,016,024
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	8,359,993	7,343,969	1,016,024
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	137,448,326	144,987,082	△ 7,538,756
正味財産合計	137,448,326	144,987,082	△ 7,538,756
負債及び正味財産合計	145,808,319	152,331,051	△ 6,522,732

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	2,761,000	3,256,000	△ 495,000
連合会還元会費	199,000	204,000	△ 5,000
受取会費計	2,960,000	3,460,000	△ 500,000
事業収益			
広告事業収益	142,400	678,080	△ 535,680
公開講座事業収益	30,000	30,000	0
社会人教育講座収益	1,806,970	700,000	1,106,970
機械系技術交流会収益	1,480,000	1,480,000	0
機械系技術交流会会費	6,300,000	6,500,000	△ 200,000
パワエレ技術者塾講座収益	5,614,325	4,432,995	1,181,330
パワエレ技術者塾会費	2,300,000	1,700,000	600,000
事業収益計	17,673,695	15,521,075	2,152,620
雑収益			
受取利息	600,244	670,217	△ 69,973
雑収益計	600,244	670,217	△ 69,973
経常収益計	21,233,939	19,651,292	1,582,647
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	3,901,968	3,230,284	671,684
法定福利費	0	9,407	△ 9,407
雑給	60,000	55,500	4,500
旅費交通費	350,210	214,650	135,560
通信運搬費	44,772	45,603	△ 831
減価償却費	596,425	339,888	256,537
消耗品費	466,530	199,616	266,914
印刷製本費	4,447,059	7,649,106	△ 3,202,047
光熱水料費	0	8,799	△ 8,799
賃借料	0	15,494	△ 15,494
租税公課	23	23	0
委託費	450,000	0	450,000
夏期数学講座事業費	165,415	166,815	△ 1,400
講演会費	3,367,666	1,709,811	1,657,855
研修会費	0	49,267	△ 49,267
奨学事業費	7,032,517	6,273,920	758,597
情報配信サービス事業費	111,980	105,380	6,600
リース料	0	33,903	△ 33,903
手数料	52,081	56,021	△ 3,940
支払報酬	0	103,620	△ 103,620
雑費	199,668	165,032	34,636
事業費計	21,246,314	20,432,139	814,175
管理費			
給料手当	4,326,550	3,855,896	470,654
法定福利費	38,500	68,982	△ 30,482
旅費交通費	807,790	747,750	60,040
通信運搬費	85,844	93,535	△ 7,691
減価償却費	42,395	37,308	5,087
消耗品費	120,848	114,725	6,123
光熱水料費	105,323	64,529	40,794
賃借料	135,236	113,621	21,615
租税公課	102,834	496,202	△ 393,368
支払負担金	0	52,800	△ 52,800
会費等集金費	230,713	316,488	△ 85,775
会員管理システム費	237,600	237,600	0
リース料	287,324	248,625	38,699
手数料	48,488	40,722	7,766
支払報酬	623,725	921,395	△ 297,670
雑費	333,211	258,585	74,626
管理費計	7,526,381	7,668,763	△ 142,382
経常費用計	28,772,695	28,100,902	671,793
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,538,756	△ 8,449,610	910,854
当期経常増減額	△ 7,538,756	△ 8,449,610	910,854

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,538,756	△ 8,449,610	910,854
当期一般正味財産増減額	△ 7,538,756	△ 8,449,610	910,854
一般正味財産期首残高	144,987,082	153,436,692	△ 8,449,610
一般正味財産期末残高	137,448,326	144,987,082	△ 7,538,756
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	137,448,326	144,987,082	△ 7,538,756

監査報告書

私は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの
令和4年度における会計監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

2. 監査結果

上記監査の結果、会計処理については、いずれも適正かつ正確であった。

令和5年4月24日

ダブルライズ税理士法人


社員税理士 和田 浩孝



令和5年5月12日

監 査 報 告

一般社団法人 大阪大学工業会

監事 高松 智 

監事 大崎 幸彦 

一般社団法人大阪大学工業会における令和4年4月1日から
令和5年3月31日までの事業内容(収入と支出含む)の状況、
財務諸表、資産書類（金融機関残高証明等）を確認し、事業内
容および会計処理が適正かつ正確に行われていることを確認
しましたので、報告いたします。

以上

第1号議案-別紙1

大阪大学工業会 産学人材育成事業

令和4年度実施報告

I. 産学高分子塾

実施日	講座名	講義題目	講義時間	講師	受講者数
R4.9.9	産学高分子塾 入門講座	重合反応の基礎	210分×5	宇山 浩	13社
R4.9.16		高分子構造の理解のための化学統計力学		関 修平	
R4.9.30		高分子物性の理解のための高分子構造論		関 修平	
R4.10.7		高分子の基礎物性と分析		藤内 謙光	
R4.10.21		高分子レオロジー		井上 正志	

※オンラインにて開催

実施日	出張先企業	講義題目	講義時間	講師	受講者数
R4.9.9	キヤノン(株)	重合反応の基礎(1)	90分×8	宇山 浩	28名
R4.9.20		重合反応の基礎(2)		関 修平	29名
		高分子構造の理解のための物理化学の基礎(熱統計力学)(1)			
R4.10.4		高分子構造の理解のための物理化学の基礎(熱統計力学)(2)		関 修平	26名
		高分子の構造(1)			
		高分子の構造(2)			
R4.10.18		高分子の構造(3)		井上 正志	24名
		高分子レオロジー概論(1)			
R4.11.1		高分子レオロジー概論(2)		浦川 理	25名
		ポリマーアロイ概論(1)			
R4.11.15	ポリマーアロイ概論(2)	藤内 謙光			
	高分子の熱特性・力学特性(1)				
	高分子の熱特性・力学特性(2)				

実施日	出張先企業	講義題目	講義時間	講師	受講者数
R4.11.25	(株)日本触媒	高分子レオロジー	90分×6	井上 正志	
R4.12.5		高分子を混合させるとどうなるか? 異なる高分子を連結するとどうなるか?		関 修平	
R5.1.17		高分子の固体物性と構造の相関		藤内 謙光	
		高分子の光学特性		井上 正志	

II. 大阪大学工業会機械工学系技術交流会

第 24 期 活動報告（令和 4 年 3 月～令和 5 年 3 月）

◆ 第 109 回

日時：2022 年 5 月 27 日（金）14:00～16:20（総会・講演会）

場所：オンライン（Zoom による Web セミナー形式）

参加者：36 名・企業参加数 14 社

〈講演会〉

- 「SDGs に関する取組照介～非食部バイオマスの利活用研究とダイバーシティ推進活動～」

大阪大学 接合科学研究所 梅田 純子氏

- 「アンドロイドにおける卒論・修論研究指導」

大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻
石原 尚 氏

◆ 第 110 回

日時：2022 年 7 月 22 日（金）13:30～16:10

場所：オンライン（Zoom によるオンライン開催）

参加者：27 名・企業参加数 11 社

〈講演会〉

- 「新しい義手の人間中心デザインとユーザビリティ」

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科
准教授 吉川 雅博 氏

- 「視覚障害者の支援技術に関する産学連携による実践的研究」

同志社女子大学 生活科学部 人間生活学科
准教授 土井 幸輝 氏

- 「健康な暮らしと介護予防を目指す歩行・歩容のフィールドスタディ」

奈良女子大学 工学部 工学科
専任講師 安在 絵美 氏

- 「食べる楽しみを支える異分野融合の福祉テクノロジー」

大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻
教授 井野 秀一 氏

◆ 第 111 回

日時：2022 年 10 月 28 日（金）13:00～16:40

場所：M4 棟 2 階 201 講義室を拠点としての対面講演会

及びオンライン配信のハイブリッド形式

共催：関西工学教育協会機械分科会

参加者：51 名・企業参加数 17 社

〈講演会〉

- 「金属材料の破壊の力学～バルク材料からマイクロ・ナノ材料まで～」

大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻

講師 近藤 俊之 氏

- 「ソフトマテリアルの個体摩擦～接触力学の基礎から最新の研究動向まで」
大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻
准教授 田中 展 氏
- 「粉粒体の数値シミュレーション～最先端モデル開発～」
大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻
講師 鷺野 公彰 氏

◆ 第 112 回

日時：2023 年 2 月 24 日（金）13:30～16:30

場所：オンライン（Zoom による Web セミナー形式）

参加者：34 名・参加企業数 9 社

〈大学院博士後期課程学生発表会〉

- 「圧電材料に基づく音響メタマテリアルの動力学特性解析と自律制御」
マイクロ動力学領域 中谷・土井研究室 李 蒙 氏
- 「Nondestructive inspection with a phased array transducer with a stacked plate buffer」
材料評価工学領域 林研究室 Xia Mingqian 氏
- 「廃棄物燃焼炉の熱分解ガス中に含まれるアンモニアが NOx 生成に及ぼす影響」
燃焼工学領域 赤松研究室 田 碩 氏
- 「The cutting of soft solids」
精密加工学領域 榎本・杉原研究室 王 佳奇 氏
- 「Base work for developing high dimensional quantum entanglement metrology devices」
ナノ加工計測学領域 高谷・水谷研究室 Elie Magnon 氏
- 「劣駆動キネマティクスシステムにおける拘束と入力役割
-双対なヘビロボットの事例研究」
機械動力学領域 石川・南研究室 高木 勇樹 氏
- 「Cyborg cockroach Instinctive Control by Stickability Flexible Chip」
生命機械融合ウエットロボティクス領域 森島研究室 ZhengXiaofeng 氏
- 「The Research on Biohybrid Swarm Intelligent inspired by Insect Perception」
生命機械融合ウエットロボティクス領域 森島研究室
Refat Chowdhury Mohammad Masum 氏
- 「A bio-hybrid actuator inspired by the forefoot of the praying mantis」
生命機械融合ウエットロボティクス領域 森島研究室
Zhao Yan 氏

◆ **機械工学関連分野を知るためのラウンドテーブル**

大学院博士前期課程（修士課程）のゼミナールとして実施

日時：2023年3月7日（火）～3月8日（水）10:00～17:15

参加：37社

場所：オンライン（Zoom利用）

主旨：大学院博士前期課程（修士課程）のゼミナールとして、機械工学系技術交流会の企業会員から技術紹介を実施していただき、大学院生・学生に産業界の現状理解と将来のキャリアパスを考える機会を設けた。

◆ **第113回**

日時：2023年3月24日（金）13:00～17:15

場所：Zoomによるオンライン形式）

参加者：35名・参加企業数11社

〈講演会〉

- 「力学系の特性を利用した宇宙機間相対軌道運動の制御」
大阪大学大学院 大学院工学研究科 機械工学専攻
教授 佐藤 訓志氏
- 「宇宙業界でのモデルベース開発手法の研究」
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 研究開発部門第三研究ユニット
水野 光氏
- 「アクチュエータ特性を考慮した宇宙機の高速度・大角度姿勢制御」
湘南工科大学大学院 工学研究科 機械工学専攻
池田 裕一氏
- 「超小型衛星プロジェクトの最新動向」
東京大学大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻
助教 五十里 哲氏

Ⅲ. パワエレ技術者塾

◆R4年度上期(4月～9月) パワエレ技術者塾

実施日	口座回	受講コース	講義題目	講義時間	講師	受講者数
R4.5.14	1回目	A,B,C	[補講] 電気回路とラプラス変換(過渡解析)[初級]	240分	谷口 研二	40
R4.5.28	2回目	A,B,C	スイッチング回路の要、半導体パワー素子	240分	谷口 研二	40
R4.6.11	3回目	A,B,C	マイクロな目でみる誘電体と磁性体	240分	谷口 研二	41
R4.6.25	4回目	A,B,C	学び直しの制御理論(含: 現代制御、デジタル制御)	240分	谷口 研二	40
R4.7.9	5回目	A,B,C	電磁干渉(EMI)の正しい理解(電磁気学)	240分	谷口 研二	42
R4.7.23	6回目	A,B,C	[補講] アナログ回路基礎とオペアンプの活用法[中級]	240分	谷口 研二	37
R4.8.20	7回目	A,C	各種コンバータとその制御(Buck,Boost,etc.)	240分	谷口 研二	33
R4.9.3	8回目	A,C	現実のコンバータの課題と対策(電力損失,スナバ等)	240分	高橋 成正 谷口 研二	36
R4.9.17	9回目	A,C	LT-SPICE講座	240分	谷口 研二	35

◆R4年度下期(10月～3月) パワエレ技術者塾

実施日	口座名	受講コース	講義題目	講義時間	講師	受講者数
R4.10.1	10回目	A,C	KiCAD講座(含: スwitchング電源のノイズ対策)	240分	高橋 成正 谷口 研二	34
R4.10.15	11回目	A,C	コンバータの実例(Buck, Flyback)	240分	谷口 研二	32
R4.10.29	12回目	A,C	環境にやさしいLLCコンバータ	240分	谷口 研二	34
R4.11.12	13回目	A,C	[補講] デジタル制御[上級]	240分	谷口 研二	30
R4.11.26	14(A)回目	A,C	DC/DCコンバータ: デザインレビュー(前半)	240分	高橋 成正 谷口 研二	34
R4.12.3	14(B)回目	A,C	DC/DCコンバータ: デザインレビュー(後半)	240分	高橋 成正 谷口 研二	24
R4.12.10	15回目	B,C	インバータの種類とその動作原理	240分	谷口 研二	24
R5.1.7	16回目	B,C	各種モータとその駆動方法	240分	谷口 研二	23
R5.1.21	17回目	B,C	モータ制御(ベクトル制御、センサレス制御)	240分	谷口 研二	21
R5.2.4	先端技術 セミナー	A,B,C	先端技術セミナー「高速スイッチングデバイスとリアクトルの損失解析方法」	240分	長浜 竜 谷口 研二	33

◆R4年度下期(10月～3月) パワエレ技術者塾「コンバータ基板製作・評価課程」

実施期間	受講コース	実施課程	受講者数
R4.10.2～R5.3.31	A,C	「コンバータ基板製作・評価課程」(14A,14B回目講座での指摘事項を受講生が修正し、その設計を基にコンバータ基板の製作・評価を外部業者に委託して設計の完成度を体得する実習コース。)	25

以上

第1号議案-別紙2

正味財産増減計算書内訳表
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計				法人会計	合計	その他会計				合計	
	継1：振興・啓発	継2：援助・奨学	継3：科学・技術誌の刊行	継4：キャリアアップ			小計	他1：教育講座	他2：ワークショップ	他3：機械技術		他4：パワエレ
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
受取会費					0	2,960,000	2,960,000				0	2,960,000
正会員受取会費					0	2,761,000	2,761,000				0	2,761,000
連合会還元会費					0	199,000	199,000				0	199,000
受取会費計	0	0	0	0	0	2,960,000	2,960,000	0	0	0	0	2,960,000
受取寄付金					0		0				0	0
受取寄付金					0		0				0	0
受取寄付金計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益												
広告事業収益			142,400		142,400		142,400				0	142,400
公開講座事業収益	30,000				30,000		30,000				0	30,000
社会人教育講座収益					0		0	1,806,970			1,806,970	1,806,970
機械系技術交流会収益					0		0			7,780,000	7,780,000	7,780,000
パワエレ技術者塾収益					0		0				7,914,325	7,914,325
事業収益計	30,000	0	142,400	0	172,400	0	172,400	1,806,970	0	7,780,000	7,914,325	17,501,295
雑収益												
受取利息					0	600,071	600,071	65		46	62	173
有価証券売却益					0		0					0
雑収益					0	1,361,143	1,361,143					0
雑収益計	0	0	0	0	0	1,961,214	1,961,214	65	0	46	62	173
経常収益計	30,000	0	142,400	0	172,400	4,921,214	5,093,614	1,807,035	0	7,780,046	7,914,387	17,501,468
(2) 経常費用												
事業費												
給料手当					0		0	59,800		807,950	3,034,218	3,901,968
賞与					0		0					0
法定福利費					0		0					0
退職給付費用					0		0					0
雑給					0		0			60,000		60,000
旅費交通費					0		0	206,970		140,760	2,480	350,210
通信運搬費					0		0			12,432	32,340	44,772
什器備品減価償却費					0		0				261,625	261,625
ソフトウェア減価償却費	334,800				334,800		334,800					0
消耗什器備品費					0		0					0

科 目	実施事業等会計					法人会計	合計	その他会計				合計	
	継1：振興・啓発	継2：援助・奨学	継3：科学・技術誌の刊行	継4：キャリアアップ	小計			他1：教育講座	他2：ワークショップ	他3：機械技術	他4：パワエレ		小計
消耗品費					0		0			157,812	308,718	466,530	466,530
印刷製本費			3,468,059		3,468,059		3,468,059				979,000	979,000	4,447,059
光熱水料費					0		0					0	0
賃借料					0		0					0	0
租税公課					0		0	9		6	8	23	23
委託費					0		0				450,000	450,000	450,000
夏期数学講座事業費	165,415				165,415		165,415					0	165,415
キャリアデザイン費					0		0					0	0
講演会費	89,096				89,096		89,096	1,147,114		53,456	2,078,000	3,278,570	3,367,666
研修会費					0		0					0	0
奨学事業費	14,773	417,744			432,517		432,517	500,000		6,100,000		6,600,000	7,032,517
情報配信サービス事業費	111,980				111,980		111,980					0	111,980
キャリアアップ支援費					0		0					0	0
リース料					0		0					0	0
手数料	1,217	5,544	7,238		13,999		13,999	7,018		8,558	22,506	38,082	52,081
会議費					0		0					0	0
支払報酬					0		0					0	0
雑費					0		0	203,401		487,409	870,001	1,560,811	1,560,811
事業費計	717,281	423,288	3,475,297	0	4,615,866	0	4,615,866	2,124,312	0	7,828,383	8,038,896	17,991,591	22,607,457
管理費													
給料手当					0	4,326,550	4,326,550					0	4,326,550
賞与					0		0					0	0
法定福利費					0	38,500	38,500					0	38,500
退職給付費用					0		0					0	0
雑給					0		0					0	0
会議費					0		0					0	0
旅費交通費					0	807,790	807,790					0	807,790
通信運搬費					0	85,844	85,844					0	85,844
什器備品減価償却費					0	42,395	42,395					0	42,395
消耗什器備品費					0		0					0	0
消耗品費					0	120,848	120,848					0	120,848
光熱水料費					0	105,323	105,323					0	105,323
賃借料					0	135,236	135,236					0	135,236
租税公課					0	102,834	102,834					0	102,834
支払負担金					0		0					0	0
会費等集金費					0	230,713	230,713					0	230,713
入会歓迎会費					0		0					0	0
50周年懇親会費					0		0					0	0

科 目	実施事業等会計					法人会計	合計	その他会計					合計
	継1：振興・啓発	継2：援助・奨学	継3：科学・技術誌の刊行	継4：キャリアアップ	小計			他1：教育講座	他2：ワークショップ	他3：機械技術	他4：パワエレ	小計	
会費管理システム費					0	237,600	237,600					0	237,600
リース料					0	287,324	287,324					0	287,324
手数料					0	48,488	48,488					0	48,488
支払報酬					0	623,725	623,725					0	623,725
雑費					0	333,211	333,211					0	333,211
管理費計	0	0	0	0	0	7,526,381	7,526,381	0	0	0	0	0	7,526,381
経常費用計	717,281	423,288	3,475,297	0	4,615,866	7,526,381	12,142,247	2,124,312	0	7,828,383	8,038,896	17,991,591	30,133,838
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0		0					0	0
当期経常増減額	△ 687,281	△ 423,288	△ 3,332,897	0	△ 4,443,466	△ 2,605,167	△ 7,048,633	△ 317,277	0	△ 48,337	△ 124,509	△ 490,123	△ 7,538,756
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
固定資産売却益													
投資有価証券売却益					0		0					0	0
経常外収益計					0		0					0	0
(2) 経常外費用													
その他の経常外費用													
退職給付引当金繰入額					0		0					0	0
経常外費用計					0		0					0	0
当期経常外増減額					0		0					0	0
他会計振替額					0		0					0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 687,281	△ 423,288	△ 3,332,897	0	△ 4,443,466	△ 2,605,167	△ 7,048,633	△ 317,277	0	△ 48,337	△ 124,509	△ 490,123	△ 7,538,756
当期一般正味財産増減額	△ 687,281	△ 423,288	△ 3,332,897	0	△ 4,443,466	△ 2,605,167	△ 7,048,633	△ 317,277	0	△ 48,337	△ 124,509	△ 490,123	△ 7,538,756
一般正味財産期首残高	△ 44,196,848	△ 130,200,872	△ 139,107,659	△ 3,056,794	△ 316,562,173	416,397,023	99,834,850	6,704,972	33,317,034	2,229,481	2,900,745	45,152,232	144,987,082
一般正味財産期末残高	△ 44,884,129	△ 130,624,160	△ 142,440,556	△ 3,056,794	△ 321,005,639	413,791,856	92,786,217	6,387,695	33,317,034	2,181,144	2,776,236	44,662,109	137,448,326
II 指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額					0		0					0	0
指定正味財産期首残高					0		0					0	0
指定正味財産期末残高					0		0					0	0
III 正味財産期末残高	△ 44,884,129	△ 130,624,160	△ 142,440,556	△ 3,056,794	△ 321,005,639	413,791,856	92,786,217	6,387,695	33,317,034	2,181,144	2,776,236	44,662,109	137,448,326
												0	0

第1号議案-別紙3

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権は償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
什器備品一定率法
ソフトウェア一定額法
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、職員の退職給付をすべき対象者が存在しないので引き当てていない。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
該当なし。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし。

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし。

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1, 100, 502	465, 124	635, 378
ソフトウェア	1, 674, 000	1, 199, 700	474, 300
合 計	2, 774, 502	1, 664, 824	1, 109, 678

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第126回 利付国債（20年）	30,000,000	34,018,620	4,018,620
合計	30,000,000	34,018,620	4,018,620

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

13. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

14. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし。

15. 重要な後発事象

該当なし。

16. その他

該当なし。

17. 実施事業資産の状況

該当なし。

18. 基本財産及び特定資産の附属明細書

該当なし。